

第24回

日本観光研究学会 全国大会 学術論文集

Proceedings of JITR Annual Conference

2009年11月

目次

2009年11月21日(土)

第1会場

1. 旅行業におけるイノベーションの考察 1
小林 裕和
2. 旅行業における情報の非対称性とホスピタリティ 5
山本 真嗣
3. 旅行業者における旅行者の多様な嗜好への対応 9
廣岡 裕一
4. 観光マネジメントと地域経済 13
—日本の歴史・文化を発進する観光マネジメント—
前原 正美
5. 尾瀬片品地域における潜在的な連泊滞在ニーズとその課題について 17
一場 博幸・海津 ゆりえ
6. 広域観光ルートの形成における観光戦略と観光マネジメント 21
前原 直子
7. 観光地の魅力度についての定量化研究 25
—観光地への時間的距離と費用的距離ならびに誘致率の関係について—
浜田 泰
8. ツーリズムは地域の基幹産業足り得るか? 29
—構造(影響力・感応度係数)からみたその可能性—
金城 盛彦
9. 近代化産業遺産の観光資源化とその過程に関する一考察 33
—鹿児島県の集成館事業を事例として—
深見 聡
10. イラン・イスラム共和国における世界遺産の価値とその有効性の調査 37
杉山 維彦

11. 八景における風景観に関する中日比較研究 41
烏 恩・青木 陽二・楊 昶

第2会場

12. ラオス観光の現状についての一考察 45
木沢 誠名
13. 魅力向上による個性ある観光地づくりについて 49
—中国・大連を事例として—
張 広帥
14. 日韓海峡間の船舶利用者における国際観光交流のあり方に関する一考察 53
新井 直樹
15. イングランドにおける広域空間計画とツーリズム 57
寺田 郁
16. 最近の観光ガイドブックの内容分析からみる個人旅行の動向について 61
正木 聡
17. 明治初期の英文旅行ガイドブック 65
—「マレー」を待ち望んだ外国人旅行者—
長坂 契那
18. 遠野の語り部とスコットランドのストーリーテラー —類似点と相違点— 69
井上 裕子
19. マルチエージェントシミュレーションによる観光情報伝播の基礎的研究 73
古屋 秀樹
20. 映像作品の視聴が観光地イメージに及ぼす影響 77
—「阿弥陀堂だより」の舞台である飯山市を事例に—
金 学秀・相澤 孝文
21. ネットワークメディアがもたらす観光の構造的変化に関する考察 81
時 建華・村上 和夫
22. メディア誘発型観光の研究動向と課題 85
鈴木 晃志郎

第3会場

23. 富士登山者の属性に応じた情報の提供方法に関する研究 89
山本 清龍・トマス・E・ジョーンズ・荒牧 重雄

24. 富士登山における日本人と外国人のインタープリテーションの比較研究 トマス・E・ジョーンズ・山本 清龍・荒牧 重雄	93
25. スキー場立地条件の分析による韓国スキー場の特徴 張 景泰	97
26. 北海道の景観資源整備にむけた風景イメージの研究 上田 裕文・吉田 恵介	101
27. 国際観光目的地としての日本のイメージ形成に関する研究 —台湾人と日本観光— 葛西 洋三・許 英傑	105
28. 日本におけるブラジル国籍市民の余暇活動調査からの一考察 小長谷 悠紀	109
29. 高山市におけるインバウンド振興 臺 純子	113
30. インバウンド観光英語の充実の必要性について 平井 美津子	117
31. 戦後日本の高等教育政策と観光学部 小畑 力人	121
32. 学生による観光フィールドワーク実践のタイプとその特色 天野 景太	125
33. 大学生の海外旅行履歴の分析 —若者の海外旅行離れ「論」への試み— 中村 哲・西村 幸子・高井 典子	129

第4会場

34. 奈良町における「生活観光」の形成 片山 明久	133
35. 消費社会における都市高層建築物の観光的魅力に関する考察 張 馨云・村上 和夫	137
36. 都市臨海空間(港湾)を生かす着地型観光のあり方に関する考察 —玉野市宇野港地区を対象として— 小阪 昌裕・金井 萬造	141
37. 観光の場における表象と創発的内省性 —マンタ論争と由布院のまちづくりを事例として— 韓 準祐	145
38. 庄内地域における「食」と「農」をつなぐ交流活動に関する研究 三浦 知子	149

39. 自治体主体によるグリーン・ツーリズムの可能性についての検討 齋藤 正典・谷津 拓郎・友成 真一	153
40. 農業観光施設来訪者の利用行動と施設評価に関する考察 —京都・大原里の駅アンケート調査より— 馬場 美智子	157
41. ルーラル・ジェントリフィケーションに伴う観光資源の形成 —富山県小矢部市メルヘン建築の事例— 有馬 貴之	161
42. 巡礼と観光のボーダレス化による地域活性化に関する研究 —台湾の台中県大甲媽祖国際観光フェスティバルを事例として— 黄 仕豪	165
43. キリスト教会と観光 —函館を事例に— 永井 恵一・十代田 朗	169
44. 中東における宗教ツーリズム —変容するイスラームの巡礼・参詣— 安田 慎	173

第5会場

45. 観光圏整備事業における着地型観光進展の考察 —知床観光圏事業の進捗過程を通して— 野竹 鉄蔵	177
46. 「尾道傾斜地域」における古民家利用による観光地形成のメカニズム —観光地形成における「ミュージアム化」の複合店舗戦略— 吉川 浩	181
47. 観光まちづくりにおける非営利活動と営利活動のガバナンスについて 敷田 麻実	185
48. TALC 分析による知床観光の再生に関する研究 中鉢 令兒	189
49. 日本における国際リゾートと「まち」の関係に関する一考察 —ニセコひらふ地区と倶知安市街地地区を事例に— 山崎 隆之・十代田 朗	193
50. 観光者の来訪動機と「食」に関する調査研究 (I) —宮城県石巻市の観光関連施設来館者調査を中心として— 大森 信治郎	197
51. 漁港ツーリズム活用による地域振興の取り組み —有田箕島漁港と有田川地域資源活用事例研究— 近藤 政幸	201

52. 観光対象としてのアウトレットモールと旅行ビジネスに関する考察 千葉 千枝子	205
53. 国内ロングステイの市場性 —ホリデーハウスの事例— 畠田 展行	209
54. ホリデーハウスプロジェクトにおける地域おこし —内成ホリデーハウス— 川島 千明	213
55. 震災地域における観光復興 —宮城県栗原市の事例— 庄子 真岐	217

2009年11月22日(日)

第1会場

56. 旅行者の観光資源に対する認識の変化に関する研究 —豊郷小学校旧校舍群における来訪者の認識変化について— 岡本 健・釜石 直裕・松尾 友貴	221
57. 朝鮮王朝中期の智異山遊山記にみる観光行動実態分析 陳 潤宣・橋本 俊哉	225
58. 上野動物園におけるGPSを用いた来園者行動の分析 矢部 直人・有馬 貴之・岡村 祐・角野 貴信	229
59. 中国人訪日ツアー参加者の満足度に関する研究 謝 暢	233
60. スポーツ体験から観光体験への変化と観光客のリスク認知 —アドベンチャーツーリズムを事例に— 稲葉 正思	237
61. 旅行先への再訪行動に関する研究 —再訪行動が生起する過程について— 大方 優子	241
62. 観光行動における同調行動に関する研究 —「新型インフルエンザ」報道の分析を通して— 前田 勇	245

第2会場

63. ICTを活用したユニバーサルツーリズムの可能性に関する考察 梅村 匡史	249
--	-----

64.	ツーリズムにおけるカーボンオフセットとカーボンマネジメント 九里 徳泰	253
65.	ガラバゴスにおける環境ガバナンスの現状と課題 西原 弘	257
66.	戦時下京都における国策としての観光 工藤 泰子	261
67.	日本の戦後精神史と観光 朝倉 俊一	265
68.	沖縄県におけるホテル・旅館業の発展 —沖縄国際海洋博覧会を転機として— 宮城 博文	269
69.	韓国南海島尚州集落における民泊地域の形成要因についての一考察 鄭 玉姫	273

第3会場

70.	航空保安検査の実情と課題 林 良隆	277
71.	航空運送事業者の経営戦略と観光地の集客力 下畑 浩二	281
72.	観光バスの駐停車行動に着眼した交通混雑の発生要因と対策に関する 基礎的研究 吉田 樹・田中 義章・秋山 哲男	285
73.	地域内外の双方向的な交流による観光まちづくり —夕張市清水沢地区での「炭鉱住宅オープンハウス」を事例に— 佐藤 真奈美・吉岡 宏高	289
74.	足助に見る観光的価値の持続的創出 井上 晶子・安島 博幸	293
75.	「水都大阪 2009」による着地型観光一考察 奥 正孝	297
76.	地域連携による門司港レトロ地区の新たな展開について 金井 萬造・大庭 正寛・小田 一勲・山田 真大	301

第4会場

77. 温泉観光地でのウォーキングがもたらす心理的・生理的効果
—福島県岳温泉での調査結果をもとに—
相澤 孝文・橋本 俊哉 305
78. ドイツのクアオルトにおける気候性地形療法と
日本における取組みに関する研究
小関 信行 309
79. 近世後期の温泉地における情報発信
—滞在者の行動に与えた影響について—
内田 彩 313
80. 高齢者・障がい者に対応した観光振興方策に関する研究
—日本と韓国の比較研究を中心として—
河本 光弘・金 乗寛 317
81. メンタルヘルス・ツーリズム —心を軽くする旅—
小口 孝司 321
82. 韓国のヘルスツーリズムの展開過程に関する研究
李 彰美・橋本 俊哉 325
83. ボランティア・ツーリズムにかんする国内外の研究動向と
日本社会における可能性
依田 真美 329

第5会場

84. 新今宮観光インフォメーションセンター設立の経緯と運営戦略
—国際ゲストハウス地域の創出に向けた活動報告 その1—
松村 嘉久・佐藤 有・有村 遊馬 333
85. 新今宮観光インフォメーションセンターの活動内容と利用実績
—国際ゲストハウス地域の創出に向けた活動報告 その2—
佐藤 有・有村 遊馬・松村 嘉久 337
86. アンケート調査からみた新今宮界隈の外国人個人旅行者の実態報告
—国際ゲストハウス地域の創出に向けた活動報告 その3—
有村 遊馬・松村 嘉久・佐藤 有 341

ポスターセッション (2009年5月30日(土)発表)

1. アイス文化の継承に関連する博物館及び類似施設の役割についての一考察 345
—北海道内4施設の設立背景と利用者動態の分析から—
孫 鳳・山村 高淑
2. 居住形態が旅行行動に与える影響に関する一考察 347
—ゲストハウスを対象とした先行研究を基に—
石川 美澄
3. 観光に原爆ドームが与えた影響に関する一考察 349
—原爆ドームの世界遺産化が契機となって改正された
文化財保護法が地域の観光資源の創出に貢献した点に着目して—
川原 早紀子
4. 出会いの場を創出する仏教寺院 351
伊藤 久史
5. 現代観光における「差異」の重要性についての一考察 353
野中 萌・春山 康秀・宮野 幸岳・敷田 麻実
6. 若者の海外旅行離れの実態調査に関する研究(その1) 355
—既往の調査・研究に関する批判的検討—
張 慶在・平 侑子・岡本 健
7. 若者の海外旅行離れの実態調査に関する研究(その2) 357
—「若者の旅行実態」を明らかにする手法の研究—
田部井 華代子・陳 彦丞・藤井 琢哉・岡本 健
8. リゾート施設建設計画は竹富島に何をもたらすか 359
—竹富島における新たな観光の在り方についての一考察—
高崎 優子
9. 観光を通じた国際協力実践者における情報ネットワーク構築の必要性 361
山口 有紀子・藤井 琢哉
10. 観光現場ニーズから見えてきた地域における社会人観光教育の提案 363
—北海道地域観光マネージャー育成事業の事例考察—
遠藤 正・敷田 麻実
11. 観光まちづくり活動への人材供給システムの構築 365
—さいたま市岩槻区におけるまちづくり学習機会の提供実績からの提案—
富澤 浩樹・大西 律子
12. “岩槻まちかど難めぐり情報サロン”の試験的運用 367
—さいたま市岩槻区における住民主導型イベントでの試み—
大西 律子・富澤 浩樹
13. 旅行先への再訪行動に関する理論的考察 369
大方 優子

14. 「エコツーリズムと持続可能な観光」と地域づくりの新展開 海津 ゆりえ・九里 徳泰・敷田 麻実	371
全国大会研究発表論文募集要項	373
日本観光研究学会ポスターセッション募集要項	374
全国大会研究発表論文集投稿規程	376